希学園 第393回 公開テスト 新小3 国語 2025年2月9日実施 【模範解答】 制限時間30分

1

① 竹馬
② 鳴く
③ 夜風
④ 朝食
⑤ 計画

2

1 エ
2 ひかり
・こだま

3 東〜ク ［完答］
4 ア
5 ウ
6 I 2 II 1 III 2

［順不同］

3

1 I ゆ・き・え・ち・や・ん
II シ・ロ・ー
2 ② キーぼう
③ クロ（ちゃん）
④ アオ
3 く・ろ
4 ⑤ こ
⑥ と
5 みどり

配点

1	各２点×　５＝１０点
2〜3	各５点×１８＝９０点
	＜計＞１００点

希学園 第393回 公開テスト 新小3 国語 2025年2月9日実施 【解説】

1

小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「竹馬」は二本の竹に足がかりをつけたものに乗って、竹の上部をにぎって歩く、子ども用のおもちゃ。これとは別に、馬に見立てて、またがって走り回る竹の棒のことも竹馬とよぶ。②「鳴く」は鳥や虫やけものの場合に用いる。「鳥」の部分の二画めは「たてぼう」である。なみだを流すのは「泣く」である。③の「夜」の部首は「夕」、「風」の中の部分は「虫」のように書く。「ム」のように書いてはいけない。④「朝食」は朝ごはんのこと。昼ごはんは昼食。晩ごはんは「夕食」であって「晩食」ではない。「夜食」は夕ごはんとは別に夜中に食べるもの。⑤「計画」はものごとを達成するために前もって手段・方法を考え出すこと。

2

1 「結ぶ」にはつなぎ合わせるという意味がある。直前の「高速で」ということばにひきずられてイ「はしる」を選ばないこと。本文の中ほどにも「東京と新大阪を……むすんでいます」とあった。

2 次の文にはっきりと書いてある。「ひかり」「こだま」「のぞみ」は「新幹線」についている「名前」である。

3 「さいしょの新幹線」ではない。「十月十日に開会式をむかえる」のは「東京オリンピック」である。新しい「鉄道」ができたときには開業式を行う。

4 「はしれる」は「飛べる」「泳げる」「買える」などと同じように、「～することができる」という意味を持っている。

5 あとが「……。また、……。また、……」の形になっているが、選択肢には「三つ」という答えがない。「車体や部品をかるく」すること、「性能のよいとくべつなモーターをつかって」いること、「きゅうなカーブをなく」すこと、「できるだけ直線になっている線路をつく」ること、「ふみきりもなく」すこと、「二本のレールのあいだをひろくする」ことの六つである。

6 Ⅰ 「いちばんはやい特急列車」は「六時間半」で、「一九六四年」の「日本でさいしょの新幹線」の「ひかり」は「四時間」だから「半分以下」ではない。「一年後」の「三時間一〇分」なら「半分以下」である。

Ⅱ 「高速」とは「スピードをあげたとき」のことで、本文にその通りに書いてある。

Ⅲ 「いまの新幹線の最高速度」は「時速三〇〇キロメートル」で、「さいしょの新幹線」は「時速二一〇キロメートル」だから、「約二倍」ではなく、約一・五倍である。

3

1 Ⅰ 「えをかく」のは「ゆきえちゃん」である。

Ⅱ 「かだん」の「チューリップ」と「はっぱ」の「え」には五つの「いろ」が用いられている。登場している「クレヨン」は六色であった。使われていない一色は、もちろん「しろ」だが、「三字」なので「シロー」である。

2 はじめて登場した人物(クレヨン)の名前はマルでかこんだり、線を引いたりしておくのがよい。特に登場人物が多いときはなおさらである。また、「クレヨン」の「いろ」のときはひらがな表記だが、「なかまによばれ」るときはカタカナ表記が用いられていることにも注意しよう。

3 「くろ」か「しろ」しかないのだが、「クロちゃん」が「シロー」を「なかまはずれ」にしているのだから「くろ」は使われていると考えられる。

4 ⑤ 「あかのクレヨンが、しろのクレヨンにききました」のあとに「……」とあって「だまっている」といわれていた。

⑥ 「きげんをとる」は(その)人の気にいるようにすること。「きいろのクレヨン」はまるで「くろのクレヨン」の子分のようにふるまっている。

5 「わたしには、かんけいないわ」と「つめたくこたえ」ているのが「ほかのクレヨンのことには、あまり関心がない」ということである。

以上